

事業所アンケートの速報値について

1 速報値について

この速報値は、令和2年7月17日に送付した「東久留米市介護保険事業推進に関するアンケート調査(介護保険サービス提供事業所向け)」のアンケート票で、令和2年8月3日(月)までの間に回答のあったものについて、各設問の回答を単純集計したものです。

アンケートの投函期限は7月31日(金)ですので、7月31日に投函された分までは集計できていると思われませんが、3日以降に市で收受した回答票を含めた最終集計の結果とは、数値等が変動することにご留意ください。

【速報値データ】

調査区分	対象者数	回収件数 (R2.8.3 收受分まで)	有効回収率 (R2.8.3 收受分まで)
東久留米市 介護保険事業推進に関するアンケート調査(介護保険サービス提供事業所向け)	70事業者	45 事業所	64.2%

2 集計結果

単純集計の結果は別紙のとおり。以下、集計結果の中から、主な内容を抜粋します。()内のページ数は別添資料 2-4 の「介護サービス事業所アンケート調査速報値一覧」のページ数です。

1 貴事業所の運営について、おたずねします

➤ 介護人材について

問9(2ページ)の「職員の定着」については、「定着し安定している」と「たまに離職者がいるが、ほぼ安定している」が合わせて84.4%となり、「離職者が多く、不安定である」との回答は6.7%であった。また、問13(3ページ)の「人材を定着させるために取り組んでいること」としては、「希望を考慮した多様な勤務形態(短時間勤務、短日勤務、交代制勤務など)の導入」(82.2%)、「職員同士の意見交換がしやすい職場環境づくり」(60.0%)、「年次有給休暇等の取得の促進」(51.1%)など、事業者ごとに介護人材の定着に向けた多様な取組みを実施していることが伺われた。

2 サービスの質の向上について、おたずねします

➤ サービスの質の向上について

問1(4ページ)の「介護の質の向上についての取組」としては、「内部研修の充実」(62.2%)、「事業所内での検討会」(60.0%)、「スタッフの資格取得への支援」(60.0%)等が多かった。また、問4(4ページ)の「今後、参加させたい研修」を問う設問では、「介護技術・知識向上」(71.1%)が最も多かったが、昨今のコロナ禍を反映してか、「公衆衛生・感染症対策」(51.1%)という回答も多く上がった。また、「言葉遣いなどの接遇やマナー、身だしなみ」(57.8%)、「リスクマネジメント」(42.2%)な

どビジネス全般に係る研修のニーズについては、2 サービスの質の向上についての問6(4ページ)の「ここ3年間で受けた苦情の内容」を問う設問で「職員の接遇に関するもの」が37.8%となっていることとも関連していそうである。また、問5(4ページ)の「介護保険サービスに対する評価の実施」についての設問では、5割の事業者が内部評価、外部評価のいずれかを実施しており、3割の事業者が今後の実施を検討しているとのことであった。

3 関係機関との連携について、おたずねします

➤ 関係機関との連携

問1(5～6ページ)の関係機関との連携についての設問では、「利用者・家族」「居宅介護支援事業所」との連携はおおむね良好である一方、「他の介護保険事業所」「ボランティア・NPO」とはあまり連携をとれていないと回答する事業者もあった。また、地域包括支援センター、医療機関、行政との連携についても、「あまり連携が取れていない」と感じている事業所があることは課題である。なお、問4(6ページ)の「かかりつけ医との連携」については、「とれている」と「まあまあとれている」が合わせて55.5%であった。

4 今後の事業展開について、おたずねします

➤ 今後の事業展開

問1(7ページ)の今後の事業展開についての設問では、「現状維持の予定」という回答が64.4%であり、新規事業の展開や既存事業の拡大を予定している事業者は併せて24.5%となった。また、問3(7ページ)の共生型サービスの提供の意向について尋ねる設問では、1事業者が提供する準備をしており、11事業所が提供について検討していると回答した。